

The Learner

Doshisha International Academy, Elementary School

April
ISSUE



April 11, 2019
Volume 90

Message from the Head of Schools

新しい年度が始まりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ご父母ならびにご関係の皆様におかれましても、お慶び申し上げます。子どもたちにとって初めての学校です。これまでは、学校に行く前段階の集団行動を経験する場所でしたが、これからは、学ぶことを通して、社会人になるために必要な事柄を身に付けていくこととなります。

また、在校生も皆、学年が上がります。誇らしいような不安なようなドキドキ感を味わっているのかなと思います。立場が変わることが成長への大きな要素の一つであると、私は常々考えています。学年が変わるということは、とても大きなことだと思うのです。ご家庭でも何かしらの課題を子どもたちと相談して“何年生ならこれくらいできるようになろうね”と決められる良い機会ではないでしょうか。

さて、もうすぐ令和(れいわ)の元号を迎え、新しい時代が始まるような、何かしら変化が起こるかもしれないような気分が漂っていると感じています。本校は、2019年1月に、国際バカロレア機構(IB)によるPYP(Primary Years Programme)の認定を受けることができました。これにより、一条校(学校教育法により定められた学校)でかつIBのPYP認定校であると言えます。もちろん、実のある教育課程並びに教育実践のために、教職員皆で一致団結して努力し、また、それぞれ個々の教育者としてのスキル向上に努めてまいります。そして、我々が最良であると考えている「探究の学び」かつ「バイリンガル教育」に国語・算数の力の涵養を加えて、子どもたちと向かい合っていきます。その際に、ご家族、ご関係の方々にも、学校を一つの核としたSocietyとして、子どもの健全な成長を共に見守り、誘導していただくことを切に願っています。文部科学省の学習指導要領も改訂されますし、PYPもEnhanced PYPに変わっていきます。Enhanced PYPでは、Unitの組み方に自由度が与えられると共に、子どもを取り巻く社会が共同して、子どもの成長を促す仕組みが強調されています。確かに、子どもは家庭で過ごす時間が最も長く、次いで学校があり、取り巻く社会があります。それら環境が、子どもを見守り、子どもの成長を促す方向性を共有することで、子どもたちが健やかに育ってくれることを期待します。

わが校は、学校法人同志社の一員として、同志社大学の附属学校として、同志社の建学の精神を根幹に置きつつ、グローバルな人材となりうる子どもの育成を目指して教育活動を進めていく所存です。ご理解、ご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

校長 太田 哲男



キリスト教 教育テーマ

4月 April : 希望 HOPE

「だから寄留者を愛しなさい。あなたがたもエジプトの地で寄留者だったからである。」

申命記 10 章 19 節（聖書協会共同訳）

今年の春休みに初めて、二泊三日で台北を訪れました。

私が外国に滞在する時に心がけていることが二つあります。一つはその国の「売り」を体験することで、観光名所を最低一箇所は訪れ、定番の土産物も購入します。二つ目はその土地の人が日常利用している店に入って、地元の空気を吸うことです。スーパーマーケットはもちろんのこと、日本にもあるコンビニやバーガー・ショップの看板や品物を比較してみるの、面白いことです。食事が極めて美味しいと評判のこの土地で、ガイドブックに載っているような蒸し物やスイーツを食べるのを楽しみにしていた私でしたが、三日間で最も「美味」と感じたものは、二日目の朝ご飯で頂いた温かい豆乳でした。

街中のカフェや食堂は夜遅くまで営業している分、朝の開店時間が遅く、10時、11時にならないと食事にはありつけない所がほとんどです。その中でたまたま見つけたこのお店は、地元の人が普通に朝ご飯を買いに来るため、8時台には店を開いています。亜熱帯地方とは言え二日目の朝は曇りがちで寒く、私は温かな飲み物が欲しくなりました。そこで「熱豆漿」つまりホット豆乳を注文したのです。20元（旅行中約80円）でどんぶり鉢一杯の温かい豆乳が目の前に置かれた時、私はとても幸せな気分になりました。有機大豆を使用し、無添加で作られたの豆乳は五臓六腑に染み入る美味しさで、これを一杯飲めただけでも今回台北まで旅行した価値が十分にある、と感じました（もちろん、ほかほかの真っ白な蒸し饅頭や具だくさんの餃子、噂の小籠包なども忘れられません）。

お勘定の時、お店の人が「どうも、ありがとうございました。」と、たどたどしい日本語で挨拶をしてくれました。また、現地のツアーガイドさんが「また、台湾へ遊びに来てください。」と優しく日本語で挨拶された時も、嬉しかったので心に残っています。温かい朝ご飯に温もりのある挨拶—たったこれだけで、私はこの地から「もてなされた」という印象を受けました。台湾の旅行者にリピーターが多いのも頷けます。

上記の聖書箇所は、古代イスラエルの人々が指導者モーセを通して神から授かった戒めの一つで、自分の国にいる寄留者（旅人や異国人）に親切にするよう諭しています。なぜなら、あなた方もかつてはエジプトの地で寄留者としての苦労を味わったのだから、と。

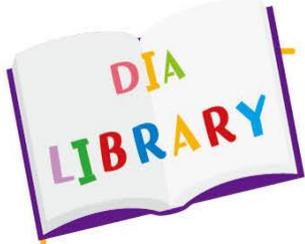
DIAは諸外国から移り住んで来られた先生方や児童、生徒さん達が大勢いらっしゃるので比較的恵まれた環境にあると言えますが、我々が「寄留者」の気持ちや心情を理解する為にも、時々外国を旅行してみるのには有効な手段かも知れない、と今更のように感じました。

Christian Education Committee 石川眞弓



<お知らせ>

2018年度「おにぎり献金」の総額は、300,000円でした。この中には年間のおにぎり献金に加え、クリスマス・ページェント時の募金、「震災を憶える礼拝」時の席上献金、各クラスマザーさんからお預かりしたクラス残金の寄付、卒業生保護者様からのパーティー残金の寄付…などが含まれます。全ての献金は三等分し、福島県の若松聖愛幼稚園、岩手県の認定こども園宮古ひかり、熊本県の慈恵病院へ送金させていただきました。皆様の温かい御協力に、心よりお礼申し上げます。



からのおしらせ

「DIA Library ようこそ！」

ご入学、そして進級おめでとうございます。

4月、新しい年度の始まりですね。始まりだからこそ、「図書館って何をするとところ？」についてお伝えしてみたいと思います。答えてくれるのは、図書館の本です。是非手に取っていただきたいお勧めの本をご紹介しますと思います。



『としよかんへ びよん!びよん!びよん!』
 アニ・シルヴェストロ作 絵本塾出版
 うさぎは、本が好きでした。夏が終わると、「おはなしのじかん」は、図書館のなかで行うことになりました。うさぎは、図書館に入れないとあきらめたものの、毎日本のことばかり考えていました。そしてある晩、考えがあつていえを飛び出しました。もちろん向かった先は…。



『としよかんのよる』
 ローレンツ・パウ作 ほるぷ出版
 「としよかんって、なんだ?」文字が読めないキツネは、図書館や本がどんなものなのか、知りませんでした。けれどネズミがだしてくれた絵本はなんだかおもしろそうです。キツネはいすにすわると絵本をひらきました。つぎのひのよる、そして、つぎのつぎのひのよるも、きつねはとしよかんにやってきました…



『さみしかった本』
 ケイト・パンハマー作 岩崎書店
 ある日、図書館に1冊の新しい絵本がはいりました。絵本は、たくさんの子どもたちに人気があつて、読んでもらうたびに、本は幸せな気持ちでいっぱいでした。でも、年月がたち、古ぼけてしまうと、もう本はだれにも読まれずに、さみしくてたまらなくなりました。ひとりの少女が、本を見つけて、ページをめくってくれるまでは…。



他にもたくさん本があります。続きは DIA Library に来てみてくださいね。

司書教諭 上里 久美

4月の主な行事・予定

1	Mon	
2	Tue	
3	Wed	
4	Thu	
5	Fri	編転入生オリエンテーション
6	Sat	
7	Sun	
8	Mon	始業礼拝(午前授業)
9	Tue	
10	Wed	入学式(G2~G5 自宅学習日)
11	Thu	
12	Fri	G6 コミュニケーションタイム 中学校進学・第1回修学旅行説明会(PM)
13	Sat	
14	Sun	
15	Mon	G5 コミュニケーションタイム (PM)
16	Tue	G2 コミュニケーションタイム
17	Wed	G1 コミュニケーションタイム (AM)
18	Thu	
19	Fri	G3 コミュニケーションタイム(PM)
20	Sat	
21	Sun	
22	Mon	G4 コミュニケーションタイム (PM)
23	Tue	健康診断(AM)
24	Wed	避難訓練
25	Thu	歯科検診
26	Fri	
27	Sat	
28	Sun	
29	Mon	昭和の日
30	Tue	

5月の主な行事・予定

- 5/11(土) 土曜参観・全体コミュニケーションタイム
きずな会総会
- 5/18(土) 第1回学校説明会 AM
- 5/23(木)・24(金) G2宿泊学習